

昭和大学（旗の台キャンパス）

学生相談室だより No.110(2023 年度 6~7 月号)

時には、寄り道、回り道・・・

今年もそろそろ梅雨入りでしょうか。例年に比べ早い気がする一方で、毎年「今年は異常気象」、「何十年ぶり」と聞く気がします。雨は私たちにとって大切なものですが、冷えたり、低気圧で体調を崩したり、時に「恵み」とすんなり受け取れないこともあります。一方、雨が降った時の土の匂い、梅雨に入ると住宅街にひょっこり現れるカエルなど、一歩立ち止まると嬉しい発見もあります。

最近、「タイパ」という言葉を耳にします。Weblioによると『「タイパ」とは、費用に対する効果を求める『コスパ』と対照的に、かけた時間に対するパフォーマンス・成果・満足度の度合いであるタイムパフォーマンスのことを意味する表現』のことだそうです。

たしかに、私たちの生活は忙しく、毎日やるべきことに追われています。メールやインターネットの発展のおかげで、瞬時に多くの情報のやり取りが可能になり、ずいぶん便利になったのではないのでしょうか。そのような中を生き抜くためには、短時間で、要領よく、沢山の成果をあげないと追いつかないところもあるのかもしれません。

一方で、それだけでは少し寂しい気もします。私たちの生活は、一見回り道に思えることの中にささやかな喜びや発見が潜んでいます。ミヒヤエル・エンデの「モモ」という作品をご存じでしょうか。

主人公のモモが住む町では皆のんびり過ごしていましたが、ある日「時間どろぼう」が現れ、皆の時間を盗んでしまいます。町の人々は無駄なおしゃべりをせずに働くようになりますが幸せな気持ちや笑顔は失われてしまいます。



発行日：2023年6月1日

発行者：昭和大学学生課 TEL 03-3784-8024

学生相談室 TEL 03-3784-8285

このお話は 1973 年に刊行されています。物語が作られた歴史的背景がありますが、50 年も前に既に「タイパ」のことが描かれていたと思うと、人の心に相通するものがあると驚きます。

結果がすぐに出る方法や答え、「タイパ」もありがたいですが、悩むこと、自分のモヤモヤに向き合うこと、人に頼ること、小さな楽しみを見つけることなど、「時間がかかること」、「目に見えないこと」を生きることにも時には思いを馳せたいものです。

参考：ミヒヤエル・エンデ（1973）「モモ」 岩波書店

Weblio 辞書 <http://www.weblio.jp>

(大河原)



6月の予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7月の予定

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/ 30	24/ 31	25	26	27	28	29